


基盤地図情報（数値標高モデル）1mメッシュ（標高）の提供を開始（陰影段彩表示での見え方の違い）

## CONTENTS

1. 令和6年測量士・測量士補試験のご案内	2
2. 高解像度の地形データの提供を開始しました！	3
3. G空間EXPO2023「いま、ここ、未来。すべてはG空間の中に。」開催報告	4
4. 第15回地理院地図パートナーネットワーク会議を開催	6
5. 「令和5年度大規模津波防災総合訓練」に参加	7
6. 企画展「第27回全国児童生徒地図優秀作品展」を開催	8
7. 秋の叙勲	8
8. 「自然災害伝承碑  」ウェブ地図「地理院地図」での公開数	9
9. 11月の報道発表・1月の主な行事予定	9

# 令和6年測量士・測量士補試験のご案内

令和6年の測量士・測量士補試験を次のとおり実施します。

## 1 試験日時及び試験地

### (1) 試験日時

#### ①測量士試験

令和6年5月19日(日)  
午前10時から午後4時まで

#### ②測量士補試験

令和6年5月19日(日)  
午後1時30分から午後4時30分まで

### (2) 試験地

北海道、宮城県、秋田県、東京都、新潟県、  
富山県、愛知県、大阪府、島根県、広島県、  
香川県、福岡県、鹿児島県、沖縄県  
※会場確保の都合上、やむを得ず近隣府県に試  
験会場を変更又は追加する場合があります。

## 2 受験手続

### (1) 受験願書受付場所

国土地理院総務部総務課  
(〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番)

### (2) 受験願書受付期間及び時間

#### ①受付期間

令和6年1月5日(金)から  
令和6年1月30日(火)まで

#### ②受付時間

午前8時30分から午後5時15分まで  
なお、郵送する場合は、令和6年1月  
30日(火)までの消印があるものに限り受  
付けます。

### (3) 受験願書用紙等の交付

受験願書用紙及び受験案内は、令和6年  
1月5日(金)から、次の場所において交付  
します。

郵送により請求する場合は、封筒の表に  
「願書請求〇部」と朱書きし、宛先明記の返  
信用封筒(角形2号以上)に必ず所要の切  
手を貼ったものを同封してください。

ただし、都道府県の土木関係部局の主務  
課では郵送の取扱いはしません。

◎国土地理院本院及び地方測量部・支所

◎各都道府県の土木関係部局の主務課

◎公益社団法人日本測量協会本部・各支部

## 3 合格発表及び通知

測量士：令和6年7月9日(火)

測量士補：令和6年6月27日(木)

国土地理院本院及び地方測量部・支所におい  
て合格者の受験番号及び氏名を公告するほか、  
全受験者宛てに試験の結果(合否)を通知します。

また、国土地理院ホームページに合格者の受  
験番号を掲載します。

## 4 試験問題等の公表

国土地理院ホームページにおいて、試験問題は  
試験日の翌日、合格率及び解答例は合格発表日  
に掲載します。

## 5 その他

(1) 試験会場の詳細は、4月中旬に決定し、願書  
提出者へ通知します。

(2) 受験願書受付後の受験地の変更については、  
令和6年3月28日(木)までに受験願書受  
付場所に届け出たもの限り認めます。

## 6 試験に関する問い合わせ先等

国土地理院総務部総務課試験登録係

電話番号 029(864)8214、8248

[https://www.gsi.go.jp/LAW/SHIKEN/  
SHIKEN-top.htm](https://www.gsi.go.jp/LAW/SHIKEN/SHIKEN-top.htm)



(総務部)

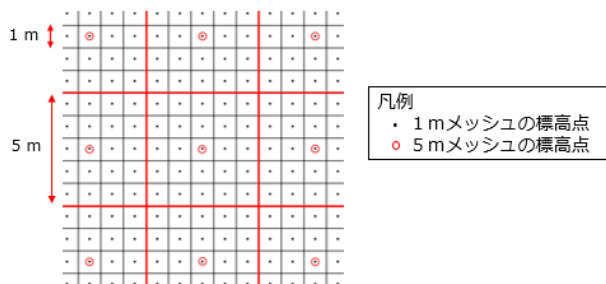
## 高解像度の地形データの提供を開始しました！

### ー基盤地図情報(数値標高モデル) 1mメッシュ(標高)の提供を開始ー

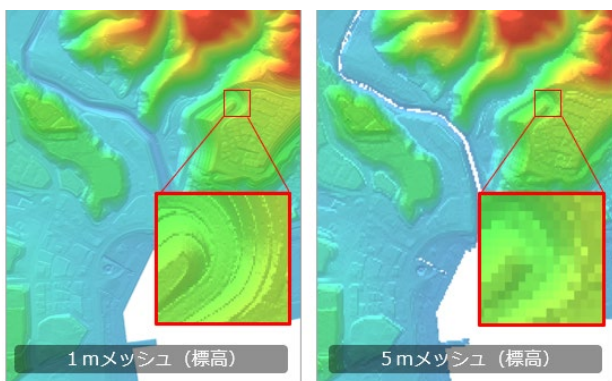
最新の航空レーザ測量データを基に作成した基盤地図情報(数値標高モデル) 1mメッシュ(標高)の提供を11月30日に開始しました。解像度は1mであり、詳細な地形の起伏が表現されているため、浸水被害予測など、これまでよりもさらに精度の高いシミュレーションが可能となります。

国土地理院は、平成20(2008)年から航空レーザ測量データを基にした基盤地図情報(数値標高モデル) 5mメッシュ(標高)を整備・提供してきました。近年、高解像度の標高データへの需要が高まっており、航空レーザ測量機器の性能も向上しています。デジタル社会の形成に向け、その基盤となる地理空間情報の充実や高度活用を図るために、今後は5mメッシュ(標高)と並行して、より高解像度な1mメッシュ(標高)の整備も進めていきます。

基盤地図情報(数値標高モデル)は、洪水、津波などの浸水被害の予測や土砂災害の危険性の調査、まちづくりなど、さまざまな分野で活用されています。1mメッシュ(標高)は5mメッシュ(標高)に比べて25倍の標高点密度を持ち、細かな起伏の表現力が増しているため、これまでよりもさらに精度の高いシミュレーションが可能となります。



標高点密度の違い(イメージ)



陰影段彩表示での見え方の違い

これにより、ハザードマップの浸水想定や土砂災害警戒箇所の抽出精度の向上などが期待されます。

11月30日に提供を開始した範囲は、国土地理院が令和2年度に実施した航空レーザ測量データを基にした東北地方太平洋沿岸部の約2,000km<sup>2</sup>です。



提供を開始した範囲

今後も航空レーザ測量データが得られた地域で基盤地図情報(数値標高モデル) 1mメッシュ(標高)を整備していく予定です。

整備したデータは、下記の基盤地図情報ダウンロードサイトから、どなたでも無償で入手できます。

#### ▼基盤地図情報ダウンロードサービス

<https://fgd.gsi.go.jp/download/>

(基本図情報部)

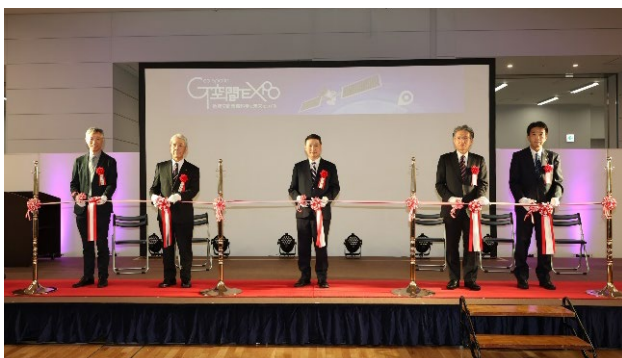
## G空間EXPO2023「いま、ここ、未来。すべてはG空間の中に。」開催報告

G空間EXPO2023「いま、ここ、未来。すべてはG空間の中に。」を11月7日から8日に東京都立産業貿易センター浜松町館（東京都港区）で会場開催、11月1日から12月10日にG空間EXPO公式ウェブサイトでオンライン開催しました。

### 【オープニングセレモニー】

G空間 EXPO は、地理空間情報高度活用社会（G空間社会）の実現に向けて、産学官民連携で開催するイベントです。

オープニングセレモニーにおいて<sup>こくぼこうのすけ</sup>國場幸之助国土交通副大臣が挨拶（代読：<sup>おおきしやういち</sup>大木章一 国土地理院長）し、3次元のG空間情報と衛星測位は、防災・環境・農業・都市開発等の多様な分野で活用され、産業・経済の発展や安全・安心で豊かな暮らしの実現のために不可欠なものとなっていること、高度な社会実装が進む時代だからこそ、それを支える基盤の維持管理と一層の技術向上が不可欠である旨述べられました。



オープニングセレモニー

### 【基調講演】

地図大使・俳優・気象予報士である<sup>いしはらよしずみ</sup>石原良純氏に「地図を楽しむ ～災害時には必ず役立つ～」と題して基調講演をいただきました。



講演する石原良純氏

### 【国土地理院施策展示】

地理空間情報フォーラムにおいて、国土地理院の施策を紹介する展示を行いました。

今回は「国土地理院の使命！～国土の全てを測る・描く・守る・伝える～」をテーマとし、「ダイナミックに変化する離島」「離島の基準点整備」「離島の地図作成」「我が国の島の数」「衛星 SAR による火山監視」「高精度・迅速・安定的な衛星測位へ」「南極地域における国土地理院の貢献」「高精度標高データの整備」「国土地理院の使命」「地図と測量の科学館」「災害で学ぶ『自然災害伝承碑』」「地形分類を知る、活かす、もっと知る」「電子基準点とは？」についてパネルで紹介しました。また、南極のVR体験、3次元点群データのデモ、デジタル標高地形図（全国版）の床展示、GNSS ブイ、西之島の石、電子基準点の内蔵機器と模型などを展示しました。



国土地理院施策展示ブース

### 【Geo アクティビティコンテスト】

地理空間情報の利活用に関する様々な「取組」、「アイデア」、「サービス」などを展示とプレゼンテーションで紹介し、参加者や来場者との交流を通じて、優良事例の育成・普及、新しいサービスの創出など、地理空間情報の活用推進を目的とした「Geo アクティビティコンテスト」を国土地理院が主催しています。本コンテストは平成 24（2012）年から開始し、今回で 12 回目となりました。

応募いただいた多数の作品の中から選ばれた 15 作品について会場で展示とプレゼンテーションが行われ、産学官の有識者 8 名で構成する審査委員会による審査の結果選ばれた受賞作品について表彰を行いました。受賞作品は表のとおりです。

なお、G空間 EXPO 公式ウェブサイト (<https://www.g-expo.jp/>) において、作品予稿をご覧ください。



Geo アクティビティコンテスト 表彰式

### 【地理院地図パートナーネットワーク会議】

国土地理院は「第 15 回地理院地図パートナーネットワーク会議」を開催しました。詳細は 6 ページをご覧ください。

G空間 EXPO2023 にご参加・ご来場いただいた皆様に心より御礼申し上げます。国土地理院は、今後も地理空間情報の利活用の推進及び普及啓発に努めてまいります。



最優秀賞を受賞した  
伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム

### Geo アクティビティコンテスト受賞作品

(敬称略)

最優秀賞	地理空間情報を活用した肥料起源マイクロプラスチックの調査	伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム
国土地理院 データ活用賞	4次元で「関ヶ原合戦」を可視化	関ヶ原町歴史民俗学習館サポーター 『不破ふわ塾』（ボランティア団体） 代表 木村 寛之
	急傾斜柑橘園におけるスマート農業～地理空間情報の活用～	愛媛大学附属高等学校 坂田 彩夏
測量新技術賞	低価格 GNSS 受信機を利用した動画像のタイムスタンプ付加	愛知工業大学 山本 義幸
地域貢献賞	ミチテラス	佐土原高校 情報技術部
防災減災賞	防災チャットボット EYE—毎日、少しずつ防災知識のストックを！—	齋藤 仁志
地理教育賞	交通安全意識向上シミュレーション	京都市立京都工学院高等学校代表 鈴木 悠斗
	レイヤを重ねることに特化した地図ビューアの開発	東京都立大学 都市環境学部 地理 環境学科 山本 将大
べんりツール賞	Sync Map Viewer	共愛学園前橋国際大学 渡辺研究室 渡辺 晃輔
国際貢献賞	日本の技術でタイの電子基準点をつなぎ、イノベーションへ貢献！	TIGORS プロジェクトチーム (JICA・パスコ)
奨励賞	我が国初の日本全土をカバーする現在および将来の推定空き家分布マップの開発とデータ配信環境の整備	東京都市大学総合研究所 デジタル 都市空間情報研究開発ユニット

(企画部)

## 第15回地理院地図パートナーネットワーク会議を開催

11月7日、第15回地理院地図パートナーネットワーク会議をG空間EXPO2023会場及びオンラインにて開催しました。

### ■会議の概要

地理院地図パートナーネットワーク (<https://maps.gsi.go.jp/pn/>) は、地理空間情報活用のオープンイノベーションを目指す情報共有・意見交換の場であり、地理院タイルをはじめとする地理空間情報の活用推進のため、国土地理院、受託開発者及びツール提供者が参加しており、令和5年11月現在、105の受託開発者と、74のツール提供者が登録されています。

地理院地図パートナーネットワーク会議は、地理院地図パートナーの情報共有・意見交換の場の1つとして平成26(2014)年から開催しており、今回で15回目になります。



新井情報普及課長による開会挨拶

### ■第15回会議の概要

第15回会議は、G空間EXPO2023の国土地理院主催イベントの1つとして、11月7日に、G空間EXPO2023会場及びオンライン併用によるハイブリッド方式で開催しました。

はじめに、地理院地図・地理院タイルをはじめとする地理空間情報の地方公共団体での利活用事例として、つくば市の家中賢作<sup>いさなかけんさく</sup>氏からデータ利活用推進について、高松市の伊賀大介<sup>いがだいすけ</sup>氏からデジタルマップ構築について、講演していただきました。

講演内容について、多くの方から「非常に参考になった」等、好意的な感想をいただきました。



地方公共団体による講演の様子

地理院地図パートナーによる発表では、4者(株式会社 Geolonia、一般社団法人 iRIC-UC、国立研究開発法人産業技術総合研究所、日本スーパーマップ株式会社)から、地理院地図の利用に関して幅広く紹介いただきました。

質疑応答・意見交換では、特にオンラインの参加者から多くの質問があり、大変盛況のうちに会議は閉会となりました。



会議の様子

### ■動画配信

当日の会議の様子は、YouTubeの地理院地図パートナーネットワーク会議チャンネルから視聴することができます。(地理院地図パートナーネットワークのウェブサイトからもアクセスできます。)

▼地理院地図パートナーネットワーク会議チャンネル  
<https://www.youtube.com/@user-vw1is8ml9k>

(地理空間情報部)

## 「令和5年度大規模津波防災総合訓練」に参加

11月11日に愛知県名古屋市で南海トラフ地震を想定した大規模津波防災総合訓練が国土交通省をはじめとする防災関係機関など67機関が参加して行われました。国土地理院は、地震時地盤災害推計システム (SGDAS) による情報伝達及び測量用航空機「くにかぜⅢ」による緊急撮影の実演を行い、展示ブースでは、国土地理院の防災・減災に向けた取り組みなどについて紹介しました。

本訓練は、11月5日の「津波防災の日」、「世界津波の日」にあわせ、地震による大規模津波の被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図ることを目的として、平成17(2005)年に始まり、今年で17回目の開催となります。

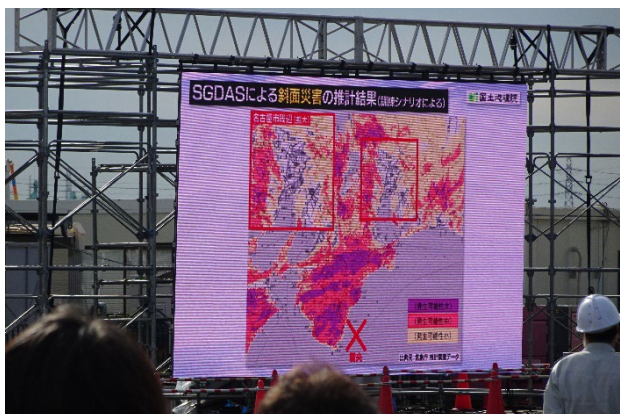
今年は、愛知県名古屋市の会場で訓練が行われ、関係者約1,300人が参加しました。



開会式の様子

訓練は、南海トラフ地震による津波襲来を想定し、救命・救出、情報収集・伝達、道路啓開、ライフラインの復旧等を行う実践的な内容で、国土地理院は、情報収集・伝達訓練に参加しました。

情報伝達訓練では、地震時地盤災害推計システム (SGDAS) による斜面災害・液状化の発生地域・規模の推計結果を防災関係機関に周知しました。



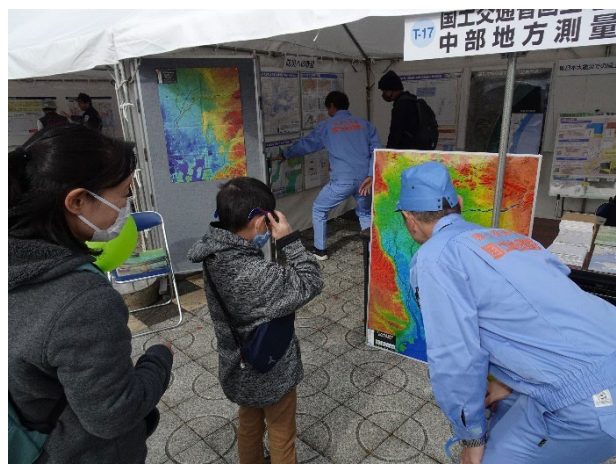
SGDAS による情報伝達訓練

情報収集訓練では、くにかぜⅢが訓練会場に飛来し、緊急撮影の実演フライトを行うとともに、災害発生時の初動時の対応として、東日本大震災で撮影した斜め写真を大型モニターで紹介しました。



くにかぜⅢによる情報収集訓練  
(出典:大規模津波防災総合訓練YouTubeより引用)

展示ブースでは、防災に役立つ地理院地図、東日本大震災での国土地理院の対応などに関するパネル展示を行い、来場者の方に3Dメガネでデジタル標高地形図の起伏を立体的に見る体験もしていただきました。また、地理院地図の実演を行い各種機能の説明を行いました。



デジタル標高地形図を見学する来場者

国土地理院は、今後も防災関係機関が実施する防災訓練に積極的に参加し、国土地理院の各種コンテンツや災害時の対応について紹介していきます。

(中部地方測量部)

## 企画展「第27回全国児童生徒地図優秀作品展」を開催

「地図と測量の科学館」（茨城県つくば市）では、令和6年1月4日（木）から令和6年2月18日（日）まで企画展「第27回全国児童生徒地図優秀作品展」を開催します。

**第27回 全国児童生徒 企画展 地図優秀作品展**

一目でわかる「立体感つき防災マップ」  
～平塚市防災マップ～

第26回 国土交通大臣賞

第26回 文部科学大臣賞

第26回 審査員特別賞

第26回 審査員特別賞

開催場所・期間

<b>国土地理院</b> <b>地図と測量の科学館</b> 茨城県つくば市北郷1番 2024/1/4(木)～2/18(日) 9:30～15:30 入館料無料。15:00で受付終了します。 休館日：1/15・1/16・2/19・2/20・2/21・1/19	<b>国土交通省</b> <b>1階展示コーナー</b> 東京都千代田区麹町2-1-3 2024/1/11(水)～1/17(水) 9:30～17:00 休館日：1/17(水) 18:00まで ※国土交通省は国土交通省庁舎	<b>科学技術館</b> <b>2階サイエンスギャラリー</b> 東京都千代田区北の丸公園2-1 2024/1/18(木)～1/22(月) 9:30～16:50 入館料：600円までお断りします ※休館日：1/22(月) 18:00まで	<b>NHK大阪放送会館</b> <b>アトリウム</b> 大阪府中央区大手前4-1-20 2024/1/25(木)～1/29(月) 9:30～17:00 休館日：1/29(月) 18:00まで Osaka Metro 谷町線・中央線 新御堂「御堂」下車
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

問合せ先

事務局  
国土交通省国土地理院総務部広報広聴課  
TEL:029-864-1111(代表)  
(内線2641・2642)

【主催】全国児童生徒地図優秀作品展協議会  
【協賛】国土交通省国土地理院  
【後援】文部科学省・国土交通省・(公社)日本地理学会・日本地図学会  
NHK大阪放送会館・大阪府教育委員会

※ 国土交通省・科学技術館・NHK大阪放送会館では、大規模展覧会と併催されます。  
※ 開催日程は変更される場合があります。

この作品展は、全国児童生徒地図作品展連絡協議会と連携して、全国各地で開催される児童生徒の地図に関する作品展に出品されたものの中から、各主催団体が推薦した優秀な作品を一堂に集めて展示するもので、平成10（1998）年から毎年開催しており、今回で27回目となります。

「全国児童生徒地図優秀作品展」では、各地の優秀な作品の中から選考した、国土交通大臣賞、文部科学大臣賞、審査員特別賞及び奨励賞の受賞作品を含む約90作品を展示します。

子どもたちがつくる地図は、時に社会が抱える課題を鋭く捉えた、思いも付かないような斬新なアイデアに満ちあふれています。素晴らしい作品を集めた「全国児童生徒地図優秀作品展」をこの機会にぜひご覧ください。

### ▼全国児童生徒地図優秀作品展

<https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/sakuhin.html>

なお、入賞作品は以下の会場でも展示いたします。

- ・令和6年1月10日（水）～1月17日（水）  
国土交通省1階展示コーナー
- ・令和6年1月18日（木）～1月22日（月）  
科学技術館2階サイエンスギャラリー
- ・令和6年1月25日（木）～1月29日（月）  
NHK 大阪放送会館アトリウム

(総務部)

## 秋の叙勲

11月3日、令和5年秋の叙勲受章者が発表されました。

国土交通省関係の叙勲受章者は303名、うち当院関係者では、4名の方が受章されました。

- |        |                                         |             |
|--------|-----------------------------------------|-------------|
| ○瑞宝中綬章 | おかもと ひろし<br>岡本 博氏 (元国土地理院長)             | 平成 25 年7月退官 |
| ○瑞宝小綬章 | こいで まさのり<br>小出 正則氏 (元参事官)               | 平成 24 年9月退官 |
| ○瑞宝小綬章 | かねこ じゅんいち<br>金子 純一氏 (元企画部地理空間情報国際標準分析官) | 平成 26 年3月退官 |
| ○瑞宝小綬章 | まるやま ひろみち<br>丸山 弘通氏 (元地理調査部長)           | 平成 19 年4月退官 |

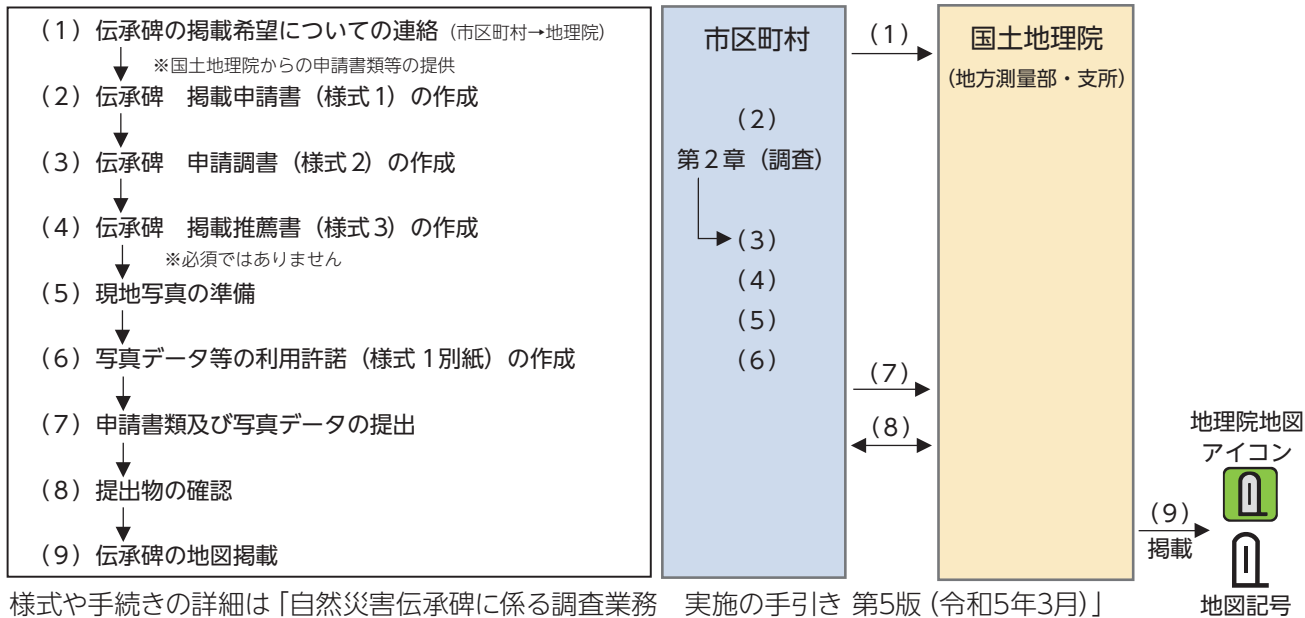
(総務部)



47	都道府県	591	市区町村	2,068	基
----	------	-----	------	-------	---

詳細については、自然災害伝承碑のページ (<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi>) をご覧ください。  
**【市区町村の担当者の皆様へ】** 自然災害伝承碑に関する当院への情報提供にご協力をお願いいたします。

### 自然災害伝承碑の申請の流れ



様式や手続きの詳細は「自然災害伝承碑に係る調査業務 実施の手引き 第5版 (令和5年3月)」 ([https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi\\_info.html](https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_info.html)) をご覧ください。

## 11月の報道発表

9日	令和5年10月の地殻変動	測地観測センター 地理地殻活動研究センター
10日	令和5年度 国土地理院関係補正予算について	企画部
30日	令和6年測量士・測量士補国家試験の日程を公表	総務部

報道の内容は、国土地理院ホームページ> 2023年 報道発表資料一覧 ([https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2023\\_00001.html](https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2023_00001.html)) をご覧ください。

## 1月の主な行事予定

1/4~	地図と測量の科学館
2/18	企画展 第27回 全国児童生徒地図優秀作品展
1/5~ 1/30	令和6年測量士・測量士補国家試験 受験願書受付

国土地理院広報は、  
 国土地理院ホームページ> 広報誌> 国土地理院広報  
 (<https://www.gsi.go.jp/WNEW/koohou/>) に掲載しています。

発行 国土交通省国土地理院  
 Geospatial Information Authority of Japan

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番  
 TEL 029-864-6255  
 FAX 029-864-6441

連絡先：総務部広報広聴室  
 国土地理院ホームページ  
<https://www.gsi.go.jp/>